

# 作ろう！ オリジナルまが玉

## まが玉とは？

身体につける**装飾品**として、また**儀式用の道具**として使われたと考えられています。



▲首にまが玉をつけた埴輪  
(群馬県太田市塚廻り3号墳)

何に使うもの？

**古墳時代** (約1,500年前) を中心に、古くは**縄文時代** (約1万年前) から作られていました。

いつ頃作られた？



◀稲荷山古墳出土まが玉 (実物大)

何から作った？

どうしてこんな形なの？

時代によって変わってきますが、古墳時代には**翡翠**、**水晶**、**めのう**等の石材が使われました。まが玉づくりセットに入っている「**滑石**」も、よく使われていた石のひとつです。

以下のものをイメージしたと考えられています。

月？

動物のキバ？

胎児 (赤ちゃん)？



聖なるものとして？



強さや権力のシンボルとして？



ぶじに生まれることを願って？

それでは、自分だけのオリジナルまが玉をつくってみましょう！

## 準備をしよう

### まが玉づくりセット



たま  
まが玉

ひも



くだ  
管玉



やすり  
ちゃ  
(茶)



やすり  
ぎん  
(銀)

### ご家庭で用意するもの



トレイ  
(水が入る容器)



タオル  
(水気をとるもの)



ぼう  
細長い棒  
(えんぴつなど)

トレイに水を入れ、中にやすり(茶)を置きましょう。

# かたちを作ろう



- ① やすり(茶)にまが玉の外側を当てて、線のところまで削ります。
- ② やすりを縦向きに棒にまきつけたもの(★)を作り、★を使いながら内側も線まで削ります。
- 方法1. ★をトレイに立てかけて、まが玉の内側を★にあてて動かす  
方法2. ★を手を持ち、まが玉の削りたいところにあてて動かす
- ③ やすりを手に持ち、まが玉の角ばったところに当てて動かします。  
全体に丸みがついたら、かたちのできあがりです。



## 仕上げ

④ きずとり



- ④ やすり(銀)を水にぬらし、銀色の面でまが玉をこすって全体のきずをとります。

※きずをとった後、タオルでふいてフェルトや新聞紙で磨くときれいに仕上がります。

⑤ ひも通し



- ⑤ まが玉と管玉にひもを通し、ひもを結んで完成です。

まが玉づくりについてのお問い合わせは  
埼玉県立さきたま史跡の博物館  
広報・学習支援担当

TEL:048-559-1181  
MAIL:k5911111@pref.saitama.lg.jp

動画でも作り方を  
ご覧いただけます。



ひもを結んで完成です。